

盛岡市地域課題解決プログラム 「市民に親しまれる市産材ベンチの デザイン開発」

岩手大学教育学部芸術文化課程
美術・デザインコース
30515017 田中美月

盛岡市産材について

盛岡市は森林が7割を超える
(人工林は半分)
使える資源は十分であるのに活用されず



森の手入れが難しい

木材の利用を進め、森林の循環へ
市産材活用で林業・木材産業活性化
盛岡市の環境を守る

盛岡市に設置しているベンチ



市民に親しまれるベンチ



市民が自分たちで楽しみながら
作り、使っていけるベンチ



作り方・材料を簡単にする必要がある

テーマ：組み立て・組み替えやすさ

卒業制作
「組み立て・組み替えやすさをテーマにしたベンチのデザイン」

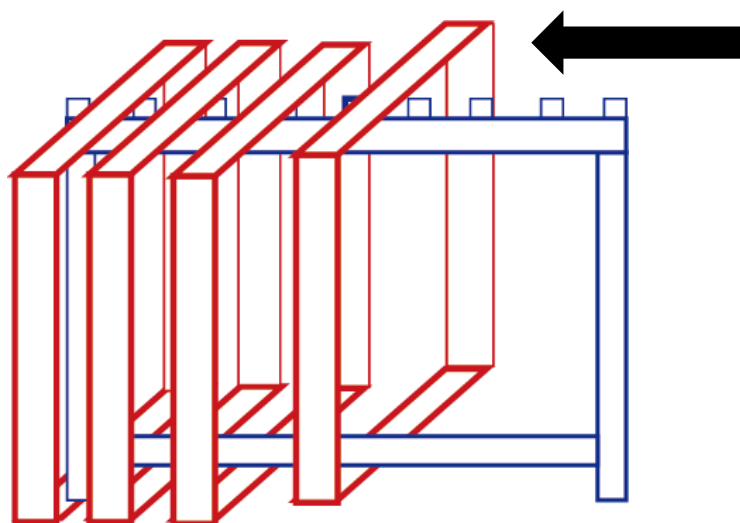


ひとつで何通りも楽しめるベンチ

DANDAN 

- ①組み立てやすく、
組み替えやすい
- ②好きな形に変えられる

①組み立てやすく、組み替えやすい



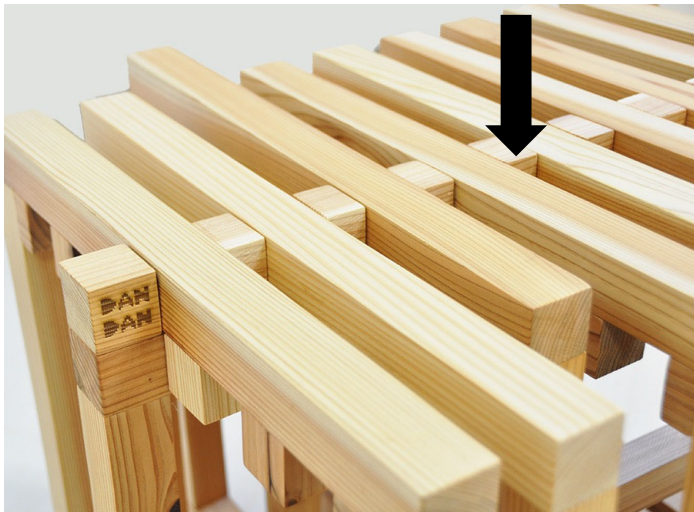
① を ② に通してはめるだけ

②好きな形に変えられる

①パーツを持ち上げる



②好きな位置にスライド



③パーツをはめ込む



何通りにも形が変化



課題

- 耐久性…補強などに木材以外の素材を使う
- 設置面…主に屋外の凸凹や傾斜のある面で置けるようにする



まだまだ改良が必要

今後の展望

ベンチ製作による市民の交流

障害のある方による製作
→福祉施設で雇用の広がり

ベンチが増えることで森林の循環へ
盛岡市の環境を守る

ご清聴ありがとうございました